

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（設定日：2019年1月28日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド 世界の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	■SDGsへの貢献が期待される企業の株式に投資を行います。 ■実質的な運用は、資産運用の世界的な潮流である「ESG投資」の手法を活用して、ロベコ・グループが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年2月7日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

# グローバルSDGs 株式ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

第 7 期

決算日 2026年2月9日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## グローバルSDGs株式ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期(2022年2月7日)	14,672	0	15.0	91.8	1.1	30,766
4期(2023年2月7日)	15,389	0	4.9	92.5	1.0	30,942
5期(2024年2月7日)	19,197	0	24.7	93.0	0.6	28,370
6期(2025年2月7日)	22,128	0	15.3	92.6	0.7	28,280
7期(2026年2月9日)	25,737	0	16.3	94.0	—	27,448

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
	円	騰落率		
(期首) 2025年2月7日	22,128	—	92.6	0.7
2月末	21,482	△ 2.9	92.5	0.8
3月末	21,173	△ 4.3	91.2	0.8
4月末	20,152	△ 8.9	91.9	0.7
5月末	21,201	△ 4.2	91.9	0.7
6月末	21,901	△ 1.0	94.1	0.6
7月末	22,991	3.9	94.2	0.6
8月末	22,741	2.8	93.0	0.7
9月末	23,038	4.1	92.4	0.7
10月末	24,335	10.0	92.4	0.7
11月末	24,694	11.6	92.9	0.7
12月末	25,123	13.5	94.7	—
2026年1月末	24,867	12.4	94.8	—
(期末) 2026年2月9日	25,737	16.3	94.0	—

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	22,128円
期末	25,737円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+16.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式の中から、SDGs(持続可能な開発目標)の達成への貢献が期待される企業の株式などに分散投資を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。



SDGs(エスディーゼーズ:Sustainable Development Goals)とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界(あらゆる形の貧困を解消・不平等の撲滅・気候変動の改善など)を実現するための17の目標・169のターゲットから構成されています。

### 上昇要因

- エヌビディアの株価が、生成AI向けGPUの旺盛な需要やクラウド事業者の設備投資拡大を背景に上昇したこと
- 半導体受託製造を行うTSMC(台湾セミコンダクター)の株価が、先端AI向け需要の高まりや堅調な業績発表を受けて上昇したこと
- 再生可能エネルギー事業を行うイベルドロウラの株価が、好調な決算や送配電ネットワークの拡大、世界的なエネルギー転換の進展を受けて上昇したこと

### 下落要因

- 医療保険・サービス提供を行うユナイテッドヘルス・グループの株価が、医療費上昇に伴う保険金支払額の増加や業績の下方修正を受けて下落したこと
- コンサルティング事業を行うアクセンチュアの株価が、需要の減速やAI普及による従来型アドバイザリー事業の収益圧迫懸念から下落したこと
- 情報ソリューション提供を行うRELX(レレックス)の株価が、ファンダメンタルズ(基礎的条件)は良好なものの、AIによる業界構造変化への不安から投資家が慎重姿勢を強めたことで下落したこと

投資環境について(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。また為替市場では対米ドルで期初は円高基調だったものの、円安が進みました。

### グローバル株式市場

グローバル株式市場は、堅調な経済活動や企業収益、金融政策への期待改善を背景に、期を通じて見ると上昇しました。期初は米国が広範な関税措置を打ち出したことによってボラティリティ(変動性)が急上昇し、リスク回避が広がりました。しかし、関税発動の先送りや企業業績の底堅さから投資家心理が早期に改善しました。期後半は、AI投資拡大とインフレ鈍化、FRB(米連邦準備制度理事会)をはじめとする主要中銀が金融引き締め終了観測を背景に、株式市場は上昇基調となりました。米国株は過去最高値を更新し、米国以外にも金融緩和が追い風となり堅調でした。

### 為替市場

米ドル・円相場は、米ドルに対して円安となりました。2025年1月下旬の日銀の利上げ以降、4月の米国の関税措置発表を受けて米ドル安・円高が進行しました。しかし、関税発動の先送りや米国経済の底堅さから利下げ観測が後退し、米ドルが反発しました。期後半は、FRBの利下げ開始が遅れるとの見方が広がり米ドル高基調で終わりました。

一方、日本では大型財政予算の承認や国債増発による財政悪化への懸念に加え、日銀の慎重な姿勢から内外金利差が維持されました。これらを背景に、安全資産としての円需要の後退やキャリートレード(低金利の通貨で資金を調達して高金利の通貨やリスク資産へ投資する行動)の活発化が進み、円安が加速しました。

ポートフォリオについて(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

### 当ファンド

期を通じて、「グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド」の組み入れを高位に保ちました。

### グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド

当ファンドは、基本的にマクロ経済などを考慮したトップダウンによる国別配分やセクター配分などを行っておりません。あくまで

個別企業の中からSDGs達成への貢献が期待でき、ESG評価(環境、社会の諸問題への取り組み姿勢と経営方針や執行能力などに対する総合評価)も優れている企業を徹底的な調査活動などを通じて厳選し、ポートフォリオを構築しています。

### ●株式組入比率

株式組入比率を高位に維持しました。

### ●国別配分

米国、イギリス、日本などを組入上位としました。

### ●通貨別配分

米ドル、ユーロ、英ポンドなどを組入上位としました。

### ●業種配分

情報技術、金融、ヘルスケアなどを組入上位としました。

### ●個別銘柄

アリスタネットワークス、キーエンス、アナログ・デバイセズ、ファースト・ソーラーなどを新規購入し、情報技術を積み増しました。

ヘルスケアのメルク、生活必需品のネスレやノマド・フーズを全売却しました。一般消費財のプラネット・フィットネス、資本財のコマツを新規で購入しました。また、テトラ・テックを追加購入し、ウェイトを上げました。コミュニケーションのKPNを一部売却し、利益を確定したことからウェイトが低下しました。

---

### エヌビディア

グラフィックスプロセッシングユニット(GPU)や人工知能(AI)、ディープラーニング、並列処理などの設計と製造を手掛ける多国籍テクノロジー企業です。高い収益性に加え、技術革新やテクノロジーの先駆者としての強力な実績を持ち合わせ、大規模なデータ処理にGPUを活用しディープラーニングを採用する顧客からのデータソリューションの強い需要は今後も続く見込みです。同社の製品は、様々な業界に活用できるGPUテクノロジー、AI、ディープラーニングなどのテクノロジーの進歩に深く関わっており、動きがいつも経済成長も(8)、産業と技術革新の基盤をつくろう(9)へ貢献しております。

### 組入上位銘柄

#### マイクロソフト

世界最大級のソフトウェア企業で、クラウド基盤やサービス提供に関する多様なソフトウェア製品を提供しているほか、クラウドインフラ分野の主要プレイヤーとして企業の業務効率化とクラウド活用を支援しています。高い投下資本利益率(ROIC)、良好なフリーキャッシュフロー、優れた成長性、SDGsへの積極的な取り組みを評価しています。デジタル技術によるイノベーションと信頼性の高いインフラ整備を通じて経済成長を促進し、動きがいつも経済成長も(8)および産業と技術革新の基盤をつくろう(9)に貢献しております。

---

※国連による「SDGs(Sustainable Development Goals)世界を変えるための17の目標」より。

●ESGを主要な要素として選定する投資対象への組入比率(対純資産総額、時価ベース)

相対的にSDGs貢献度が高い銘柄の組入比率は、原則として、純資産総額の90%以上とします。2025年12月末時点の組入比率は96.4%です。

<ご参考>

グローバルSDGs エクイティ・マザーファンドのESG投資の状況(2025年12月末時点)

●SDGスコアとファンドの実質的な投資対象

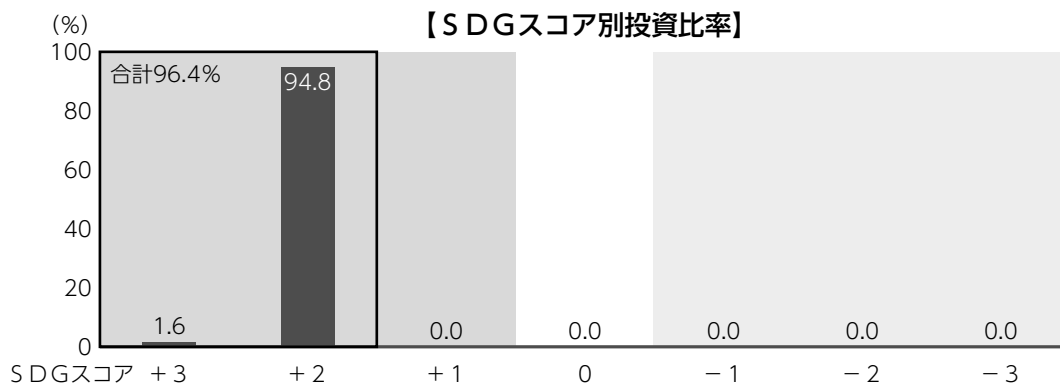
- 各企業のSDGs 貢献度評価(SDGフレームワーク)に基づいて、SDGスコアを算出します。SDGスコアが上位の銘柄を、ファンドの実質的な投資対象とします。

評価	インパクト	SDGスコア	
ポジティブ	高	+3	当ファンドの 実質的な投資対象
	中	+2	
	低	+1	
中立		0	
ネガティブ	低	-1	
	中	-2	
	高	-3	

※上記のSDGスコア算出プロセスは、2025年12月末現在のものであり、今後変更される場合があります。

●(参考情報)グローバルSDGs エクイティ・マザーファンドのSDGスコアの状況

- 2025年12月末時点のマザーファンドにおけるSDGスコア別の投資比率は以下の通りです。



※投資比率は、マザーファンドにおける純資産総額(現金等を含みます)に対する時価の比率です。

※グラフ・データは、過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

(出所)ロベコ・スイス・エージーの情報を基に委託会社作成

● ESGを主要な要素とする投資戦略に関連するスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動について

当ファンドの実質的な運用を担うロベコ・スイス・エージー（以下、『ロベコ』といいます。）のスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動の主な内容は以下の通りです。

スチュワードシップ方針

- ロベコは、サステナブル投資を企業戦略の基軸としており、持続可能な商慣行を伴う企業は比較優位性を有し、長期的により高い成果を上げると確信しています。
- スチュワードシップ責任を果たすことは、ロベコのサステナブル投資アプローチにおいて不可欠と考えております。
- ロベコは、お客様ニーズに適合するよう様々な戦略や投資目的をもって資産を管理していますが、「環境、社会およびすべてのステークホルダーに対して持続可能な方法で取り組む企業（および国）は、今後の事業または試みにおける多様な問題に、より対処できる可能性が高い」という全社的な哲学を有している点では共通しています。
- ロベコは資産運用会社として、一連の方針を通じてこの哲学の具体化に取り組んでいます。
  - ・ ESG（環境・社会・ガバナンス（企業統治））統合
  - ・ 議決権行使
  - ・ 投資先企業へのエンゲージメント（ユーザーが投稿に対して反応した割合を示す値）
  - ・ 投資除外および行動規範

スチュワードシップ方針に沿って実施した主な内容

2024年1月1日から2024年12月31日の期間において、ロベコが実施したエンゲージメントの主な内容は以下の通りです。

エンゲージメントについて

- 実施件数：324件（エンゲージメントの内容別）
- 実施対象企業数：301社
- 成功事例となった割合：63%

議決権行使について

- 権利行使した株主総会数：6,655社
- 権利行使した議案総数：67,757件
- 会社側提案に反対した割合：56%

なお、ロベコのスチュワードシップ方針とエンゲージメント活動についての詳細は、下記ウェブサイトを参照ください。

(日本語) スチュワードシップ・コードへの対応方針 | Robeco Japan

<https://www.robeco.com/jp-jp/response-policies-for-stewardship-cord>

(英語) Active Ownership | Robeco Global

<https://www.robeco.com/en-int/sustainable-investing/influence/active-ownership>

ベンチマークとの差異について (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第7期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	15,736

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

---

### 当ファンド

引き続き、「グローバルSDGs エクイティ・マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

---

### グローバルSDGs エクイティ・マザーファンド

世界のバリュエーション(投資価値評価)への警戒感が強く、金利はピークから大きく低下したものの依然として高水準にあり、米国の金融政策の先行きも不透明です。さらに、地政学リスクの高まりや、米国政府の不安定な政策運営などが不確実性を押し上げていま

す。ここ数年は超大型テクノロジー企業が市場を牽引してきましたが、今後はより幅広い企業へ成長が広がるとみています。

これまでの力強い株価上昇や足元のバリュエーション水準を踏まえると、株式市場が堅調さを維持するには、企業収益の持続的成長が不可欠です。当ファンドは、ボトムアップアプローチに焦点を当て、ポジティブなSDGsの特徴と市場サイクルを通じて強固なファンダメンタルズを持ち、魅力的な株価水準で取引されている銘柄の発掘に注力します。また、様々な経済環境に対応可能で回復力のあるビジネスモデルの企業に注目し、株価が魅力的で質の高い銘柄への投資を続けてまいります。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)

## グローバルSDGs 株式ファンド

### 1万口当たりの費用明細 (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>388円</b>	<b>1.703%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は22,762円です。</b>
（投信会社）	(189)	(0.829)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(189)	(0.829)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(10)	(0.044)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>1</b>	<b>0.005</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b>
（株式）	(1)	(0.005)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>5</b>	<b>0.021</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b>
（株式）	(5)	(0.021)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>6</b>	<b>0.028</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b>
（保管費用）	(5)	(0.023)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回国・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>400</b>	<b>1.757</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

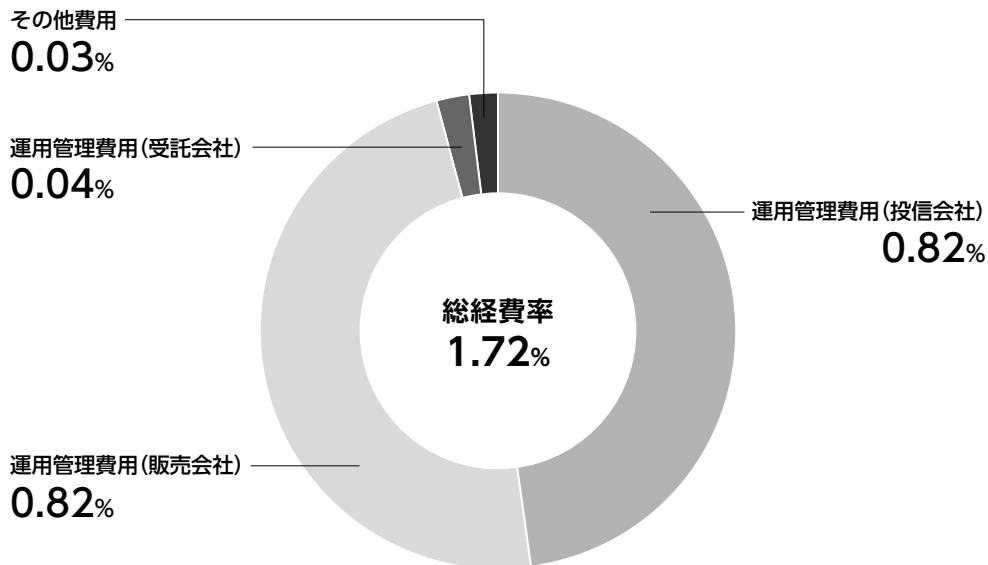
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.72%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド	226,311	573,150	2,223,384	5,891,200

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

項 目	当 期
	グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	16,219,331千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,996,336千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	0.64

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## グローバルSDGs 株式ファンド

### ■ 組入れ資産の明細 (2026年2月9日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド	11,011,874	9,014,801	26,785,679

※グローバルSDGsエクイティ・マザーファンドの期末の受益権総口数は9,014,801,473口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2026年2月9日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド	26,785,679	96.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	930,271	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	27,715,950	100.0

※グローバルSDGsエクイティ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(24,494,130千円)の投資信託財産総額(27,248,813千円)に対する比率は89.9%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.96円、1台湾・ドル=4.954円、1イギリス・ポンド=213.64円、1スウェーデン・クローナ=17.43円、1ユーロ=185.65円です。

## グローバルSDGs株式ファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年2月9日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>27,715,950,911円</b>
コーポレートローン等	672,831,295
グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド(評価額)	26,785,679,616
未収入金	257,440,000
<b>(B) 負 債</b>	<b>267,756,391</b>
未払解約金	32,912,702
未払信託報酬	234,235,378
その他未払費用	608,311
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>27,448,194,520</b>
元本	10,664,973,193
次期繰越損益金	16,783,221,327
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,664,973,193口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>25,737円</b>

※当期における期首元本額12,780,050,851円、期中追加設定元本額955,394,305円、期中一部解約元本額3,070,471,963円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2025年2月8日 至2026年2月9日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>3,514,220円</b>
受 取 利 息	3,514,220
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>4,242,005,766</b>
売 買 益	4,644,565,650
売 買 損	△ 402,559,884
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 459,596,542</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)</b>	<b>3,785,923,444</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>7,081,612,410</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>5,915,685,473</b>
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3,064,161,280)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,851,524,193)
<b>(G) 合 計 (D+E+F)</b>	<b>16,783,221,327</b>
<b>次 期 繰 越 損 益 金 (G)</b>	<b>16,783,221,327</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	5,915,685,473
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3,066,576,942)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,849,108,531)
分 配 準 備 積 立 金	10,867,535,854

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は119,227,699円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	314,118,888円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3,471,804,556
(c) 収益調整金	5,915,685,473
(d) 分配準備積立金	7,081,612,410
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	16,783,221,327
1万口当たり当期分配対象額	15,736.77
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド

第7期 (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2019年1月28日)
運用方針	<p>■主として世界の取引所に上場している株式*の中から、SDGs (持続可能な開発目標) の達成への貢献が期待される企業の株式に投資を行います。 ※不動産投資信託 (REIT)、DR (預託証券) 等も含まれます。</p> <p>■SDGsへの貢献度に加え、企業のESG評価と収益性やバリュエーション等の分析・評価を行い、銘柄選択を行います。またSDGs各分野への分散等を考慮してポートフォリオを構築します。</p> <p>■株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>■運用にあたっては、運用委託契約に基づき運用の指図に関する権限の一部をロベコ・スイス・エーजीに委託します。なお、ロベコ・スイス・エーजीは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部をロベコ・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・ビー・ヴィに再委託します。</p>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率			
3期 (2022年2月7日)	15,635	17.4	94.2	1.2	30,000
4期 (2023年2月7日)	16,698	6.8	94.8	1.0	30,191
5期 (2024年2月7日)	21,282	27.5	95.4	0.7	27,678
6期 (2025年2月7日)	25,039	17.7	94.9	0.8	27,572
7期 (2026年2月9日)	29,713	18.7	96.3	—	26,785

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

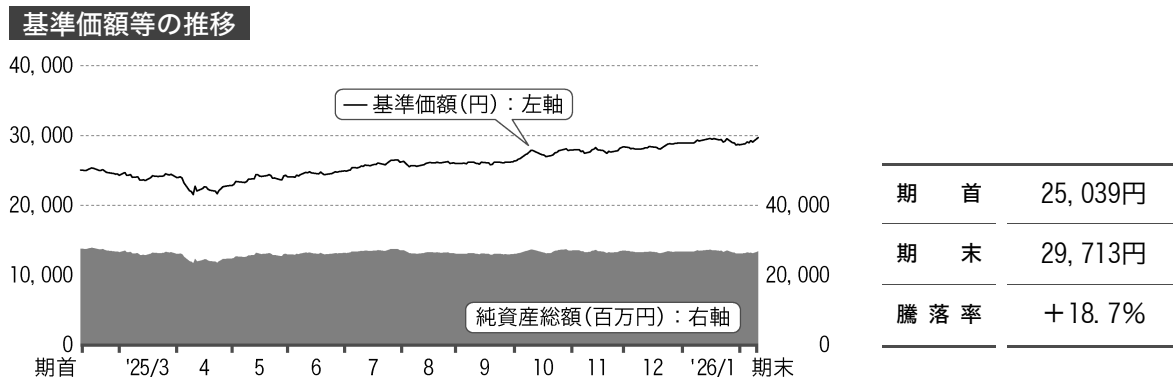
年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2025年2月7日	25,039	—	94.9	0.8
2月末	24,314	△ 2.9	94.8	0.8
3月末	23,991	△ 4.2	93.3	0.8
4月末	22,836	△ 8.8	93.8	0.7
5月末	24,084	△ 3.8	93.7	0.7
6月末	24,932	△ 0.4	95.9	0.7
7月末	26,233	4.8	95.9	0.6
8月末	25,983	3.8	95.3	0.7
9月末	26,370	5.3	94.5	0.7
10月末	27,928	11.5	94.4	0.7
11月末	28,386	13.4	94.7	0.7
12月末	28,931	15.5	96.4	—
2026年1月末	28,673	14.5	96.5	—
(期 末) 2026年2月9日	29,713	18.7	96.3	—

※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2025年2月8日から2026年2月9日まで)



▶ 基準価額の主な変動要因 (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

当ファンドは、世界の取引所に上場している株式の中から、SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献が期待される企業の株式などに分散投資を行いました。  
外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

<p>上昇要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エヌビディアの株価が、生成AI向けGPUの旺盛な需要やクラウド事業者の設備投資拡大を背景に上昇したこと</li> <li>・ 半導体受託製造を行うTSMC（台湾セミコンダクター）の株価が、先端AI向け需要の高まりや堅調な業績発表を受けて上昇したこと</li> <li>・ 再生可能エネルギー事業を行うイベルドロウラの株価が、好調な決算や送配電ネットワークの拡大、世界的なエネルギー転換の進展を受けて上昇したこと</li> </ul>
<p>下落要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療保険・サービス提供を行うユナイテッドヘルス・グループの株価が、医療費上昇に伴う保険金支払額の増加や業績の下方修正を受けて下落したこと</li> <li>・ コンサルティング事業を行うアクセンチュアの株価が、需要の減速やAI普及による従来型アドバイザリー事業の収益圧迫懸念から下落したこと</li> <li>・ 情報ソリューション提供を行うRELX（レレックス）の株価が、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は良好なものの、AIによる業界構造変化への不安から投資家が慎重姿勢を強めたことで下落したこと</li> </ul>

▶ 投資環境について (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。また為替市場では対米ドルで期初は円高基調だったものの、円安が進みました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は、堅調な経済活動や企業収益、金融政策への期待改善を背景に、期を通じて見ると上昇しました。期初は米国が広範な関税措置を打ち出したことによってボラティリティ（変動性）が急上昇し、リスク回避が広がりました。しかし、関税発動の先送りや企業業績の底堅さから投資家心理が早期に改善しました。期後半は、AI投資拡大とインフレ鈍化、FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとする主要中銀が金融引き締め終了観測を背景に、株式市場は上昇基調となりました。米国株は過去最高値を更新し、米国以外も金融緩和が追い風となり堅調でした。

## 為替市場

米ドル・円相場は、米ドルに対して円安となりました。2025年1月下旬の日銀の利上げ以降、4月の米国の関税措置発表を受けて米ドル安・円高が進行しました。しかし、関税発動の先送りや米国経済の底堅さから利下げ観測が後退し、米ドルが反発しました。期後半は、FRBの利下げ開始が遅れるとの見方が広がり米ドル高基調で終わりました。

一方、日本では大型財政予算の承認や国債増発による財政悪化への懸念に加え、日銀の慎重な姿勢から内外金利差が維持されました。これらを背景に、安全資産としての円需要の後退やキャリートレード（低金利の通貨で資金を調達して高金利の通貨やリスク資産へ投資する行動）の活発化が進み、円安が加速しました。

---

## ▶ ポートフォリオについて (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

---

当ファンドは、基本的にマクロ経済などを考慮したトップダウンによる国別配分やセクター配分などを行っておりません。あくまで個別企業の中からSDGs達成への貢献が期待でき、ESG評価（環境、社会の諸問題への取り組み姿勢と経営方針や執行能力などに対する総合評価）も優れている企業を徹底的な調査活動などを通じて厳選し、ポートフォリオを構築しています。

## 株式組入比率

株式組入比率を高位に維持しました。

## 国別配分

米国、イギリス、日本などを組入上位としました。

## 通貨別配分

米ドル、ユーロ、英ポンドなどを組入上位としました。

## 業種配分

情報技術、金融、ヘルスケアなどを組入上位としました。

## 個別銘柄

アリスタネットワークス、キーエンス、アナログ・デバイセズ、ファースト・ソーラーなどを新規購入し、情報技術を積み増しました。

ヘルスケアのメルク、生活必需品のネスレやノマド・フーズを全売却しました。一般消費財のプラネット・フィットネス、資本財のコマツを新規で購入しました。また、テトラ・テックを追加購入し、ウェイトを引き上げました。コミュニケーションのKPNを一部売却し、利益を確定したことからウェイトが低下しました。

**エヌビディア**

グラフィックスプロセッシングユニット（GPU）や人工知能（AI）、ディープラーニング、並列処理などの設計と製造を手掛ける多国籍テクノロジー企業です。高い収益性に加え、技術革新やテクノロジーの先駆者としての強力な実績を持ち合わせ、大規模なデータ処理にGPUを活用しディープラーニングを採用する顧客からのデータソリューションの強い需要は今後も続く見込みです。同社の製品は、様々な業界に応用できるGPUテクノロジー、AI、ディープラーニングなどのテクノロジーの進歩に深く関わっており、働きがいも経済成長も（8）、産業と技術革新の基盤をつくろう（9）へ貢献しております。

**組入上位銘柄**

**マイクロソフト**

世界最大級のソフトウェア企業で、クラウド基盤やサービス提供に関する多様なソフトウェア製品を提供しているほか、クラウドインフラ分野の主要プレイヤーとして企業の業務効率化とクラウド活用を支援しています。高い投下資本利益率（ROIC）、良好なフリーキャッシュフロー、優れた成長性、SDGsへの積極的な取り組みを評価しています。デジタル技術によるイノベーションと信頼性の高いインフラ整備を通じて経済成長を促進し、働きがいも経済成長も（8）および産業と技術革新の基盤をつくろう（9）に貢献しております。

※国連による「SDGs(Sustainable Development Goals)世界を変えるための17の目標」より。

● ESGを主要な要素として選定する投資対象への組入比率（対純資産総額、時価ベース）

相対的にSDGs貢献度が高い銘柄の組入比率は、原則として、純資産総額の90%以上とします。2025年12月末時点の組入比率は96.4%です。

<ご参考>

グローバルSDGsエクイティ・マザーファンドのESG投資の状況（2025年12月末時点）

● SDGスコアとファンドの実質的な投資対象

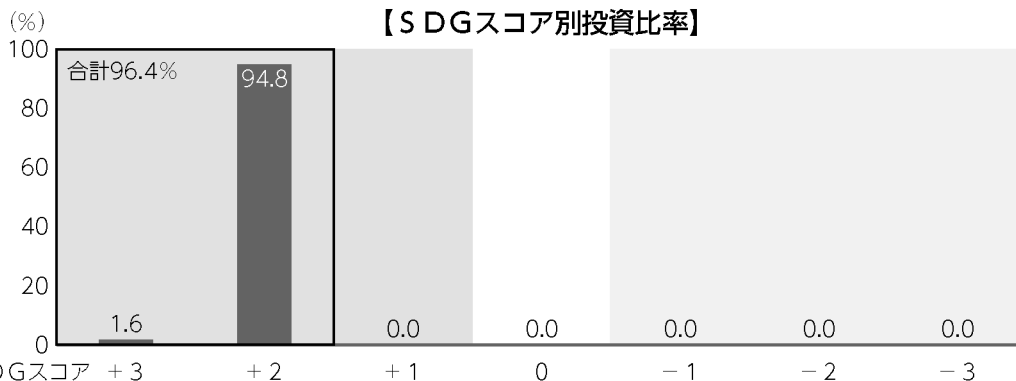
・各企業のSDGs貢献度評価（SDGフレームワーク）に基づいて、SDGスコアを算出します。SDGスコアが上位の銘柄を、ファンドの実質的な投資対象とします。

評価	インパクト	SDGスコア	
ポジティブ	高	+3	当ファンドの 実質的な投資対象
	中	+2	
	低	+1	
中立		0	
ネガティブ	低	-1	
	中	-2	
	高	-3	

※上記のSDGスコア算出プロセスは、2025年12月末現在ののものであり、今後変更される場合があります。

● (参考情報) グローバルSDGsエクイティ・マザーファンドのSDGスコアの状況

・ 2025年12月末時点のマザーファンドにおけるSDGスコア別の投資比率は以下の通りです。



※投資比率は、マザーファンドにおける純資産総額（現金等を含みます）に対する時価の比率です。

※グラフ・データは、過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

(出所) ロベコ・スイス・エージェーの情報を基に委託会社作成

● ESGを主要な要素とする投資戦略に関連するスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動について

当ファンドの実質的な運用を担うロベコ・スイス・エージェー（以下、『ロベコ』といいます。）のスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動の主な内容は以下の通りです。

**スチュワードシップ方針**

■ロベコは、サステナブル投資を企業戦略の基軸としており、持続可能な商慣行を伴う企業は比較優位性を有し、長期的により高い成果を上げると確信しています。

■スチュワードシップ責任を果たすことは、ロベコのサステナブル投資アプローチにおいて不可欠と考えております。

■ロベコは、お客様ニーズに適合するよう様々な戦略や投資目的をもって資産を管理していますが、「環境、社会およびすべてのステークホルダーに対して持続可能な方法で取り組む企業（および国）は、今後の事業または試みにおける多様な問題に、より対処できる可能性が高い」という全社的な哲学を有している点では共通しています。

■ロベコは資産運用会社として、一連の方針を通じてこの哲学の具体化に取り組んでいます。

- ・ ESG（環境・社会・ガバナンス（企業統治））統合
- ・ 議決権行使
- ・ 投資先企業へのエンゲージメント（ユーザーが投稿に対して反応した割合を示す値）
- ・ 投資除外および行動規範

### スチュワードシップ方針に沿って実施した主な内容

2024年1月1日から2024年12月31日の期間において、ロベコが実施したエンゲージメントの主な内容は以下の通りです。

エンゲージメントについて

- 実施件数：324件（エンゲージメントの内容別）
- 実施対象企業数：301社
- 成功事例となった割合：63%

議決権行使について

- 権利行使した株主総会数：6,655社
- 権利行使した議案総数：67,757件
- 会社側提案に反対した割合：56%

なお、ロベコのスチュワードシップ方針とエンゲージメント活動についての詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

(日本語) スチュワードシップ・コードへの対応方針 | Robeco Japan

<https://www.robeco.com/jp-jp/response-policies-for-stewardship-cord>

(英語) Active Ownership | Robeco Global

<https://www.robeco.com/en-int/sustainable-investing/influence/active-ownership>

---

### ▶ ベンチマークとの差異について (2025年2月8日から2026年2月9日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

世界のバリュエーション（投資価値評価）への警戒感が強く、金利はピークから大きく低下したものの依然として高水準にあり、米国の金融政策の先行きも不透明です。さらに、地政学リスクの高まりや、米国政府の不安定な政策運営などが不確実性を押し上げています。ここ数年は超大型テクノロジー企業が市場を牽引してきましたが、今後はより幅広い企業へ成長が広がるとみられています。

これまでの力強い株価上昇や足元のバリュエーション水準を踏まえると、株式市場が堅調さを維持するには、企業収益の持続的成長が不可欠です。当ファンドは、ボトムアップアプローチに焦点を当て、ポジティブなSDGsの特徴と市場サイクルを通じて強固なファンダメンタルズを持ち、魅力的な株価水準で取引されている銘柄の発掘に注力します。また、様々な経済環境に対応可能で回復力のあるビジネスモデルの企業に注目し、株価が魅力的で質の高い銘柄への投資を続けてまいります。

### ■ 1万口当たりの費用明細(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	1円 (1) (0)	0.006% (0.005) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	6 (6)	0.021 (0.021)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)	0.024 (0.024) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	13	0.051	

期中の平均基準価額は25,996円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 60.8	千円 672,285	千株 25.7	千円 138,967
	外				
	ア メ リ カ	百株 2,321.24	千アメリカ・ドル 21,938	百株 3,096.12	千アメリカ・ドル 43,997
	カ ナ ダ	百株 572.72	千カナダ・ドル 1,239	百株 1,845.01	千カナダ・ドル 3,115
	台 湾	百株 90	千台湾・ドル 12,560	百株 270	千台湾・ドル 29,394
	イ ギ リ ス	百株 4,669.82	千イギリス・ポンド 3,684	百株 280.04	千イギリス・ポンド 1,833
	ス イ ス	百株 -	千スイス・フラン -	百株 250.22	千スイス・フラン 3,571
	デ ン マ ー ク	百株 118.87	千デンマーク・クローネ 5,756	百株 271.26	千デンマーク・クローネ 8,189
国	ユ ー ロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	オ ラ ン ダ	1,115.81 (111.52)	2,390 (-)	11,405.3	4,702
	フ ラ ン ス	69.68 (-)	2,179 (△14)	1.08	24
	ド イ ツ	-	-	64.68	2,343
	ス ペ イ ン	- (98)	- (-)	975.57	1,529
	フ ィ ン ラ ン ド	-	-	215.92	1,150
	そ の 他	25.26 (△61.96)	139 (-)	309.57	1,701

※金額は受渡し代金。

※( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外		口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
ア メ リ カ	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	-	-	68,282	1,077

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,219,331千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,996,336千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	0.64

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ■ 利害関係人との取引状況等(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年2月8日から2026年2月9日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細(2026年2月9日現在)

(1)国内株式

銘 柄	期首(前期末)	期 末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
建設業(21.7%)			
積水ハウス	140.5	120.2	437,528
機械(19.1%)			
小松製作所	—	51.5	384,911
電気機器(15.7%)			
キーエンス	—	5.7	315,324
輸送用機器(21.1%)			
シマノ	24	22.9	423,879

銘 柄	期首(前期末)	期 末	
	株数	株数	評価額
サービス業(22.4%)			
セコム	74.4	73.7	450,601
		千株	千株
合 計	株数・金額	238.9	274
	銘柄数<比率>	3銘柄	5銘柄
			<7.5%>

※銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド

(2)外国株式

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
CISCO SYSTEMS INC	509.3	433.98	3,681	577,772	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COLGATE-PALMOLIVE CO	657.87	602.96	5,692	893,501	家庭用品・パーソナル用品
TOPBUILD CORP	70.81	70.11	3,628	569,481	耐久消費財・アパレル
FORTINET INC	344.54	259.47	2,147	337,051	ソフトウェア・サービス
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	57.46	84.52	2,124	333,513	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
REINSURANCE GROUP OF AMERICA	150.9	123.53	2,783	436,956	保険
ARISTA NETWORKS INC	-	202.75	2,787	437,543	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PLANET FITNESS INC - CL A	-	257.36	2,357	370,060	消費者サービス
ELI LILLY & CO	49.28	48.74	5,157	809,532	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ETSY INC	462.54	386.18	2,232	350,474	一般消費財・サービス流通・小売り
MERCK & CO. INC.	207	-	-	-	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MARSH & MCLENNAN COS	222.92	152.01	2,812	441,472	保険
DARLING INGREDIENTS INC	272.75	-	-	-	食品・飲料・タバコ
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	90.34	-	-	-	資本財
ACCENTURE PLC-CL A	109.31	108.22	2,603	408,722	ソフトウェア・サービス
SYNOPLYS INC	54.74	-	-	-	ソフトウェア・サービス
LINDE PLC	137.48	-	-	-	素材
TRAVELERS COS INC/THE	151.43	55.42	1,670	262,257	保険
UNITEDHEALTH GROUP INC	104.45	48.59	1,344	210,992	ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	183.37	171.31	5,680	891,579	金融サービス
NVIDIA CORP	767.3	654.83	12,141	1,905,683	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	94.44	94.79	5,145	807,635	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MASTERCARD INC - A	104.73	97.79	5,366	842,267	金融サービス
TETRA TECH INC	651.05	1,020.3	4,212	661,244	商業・専門サービス
BANK OF AMERICA CORP	956.43	946.76	5,352	840,055	銀行
ANALOG DEVICES INC	-	90.87	2,911	457,056	半導体・半導体製造装置
APPLIED MATERIALS INC	147.15	117.94	3,803	597,026	半導体・半導体製造装置
CHECK POINT SOFTWARE TECH	207.03	103.05	1,864	292,617	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	278.08	238.44	9,564	1,501,288	ソフトウェア・サービス
REGAL REXNORD CORP	103.1	166.8	3,532	554,512	資本財
BALL CORP	-	820.89	5,456	856,445	素材
NOMAD FOODS LTD	950.5	-	-	-	食品・飲料・タバコ
AON PLC-CLASS A	85.15	48.96	1,674	262,849	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,181.45 29銘柄	7,406.57 27銘柄	107,731 -	16,909,592 <63.1%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
NORTHLAND POWER INC	1,272.29	-	-	-	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,272.29 1銘柄	- -	- -	- <->
(台湾)	百株	百株	千台湾・ドル	千円	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	1,270	1,090	194,020	961,291	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,270 1銘柄	1,090 1銘柄	194,020 -	961,291 <3.6%>
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
HALEON PLC	-	4,402.33	1,752	374,418	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

## グローバルSDGsエクイティ・マザーファンド

銘柄		期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
RELX PLC		784.63	669.73	1,436	306,908	商業・専門サービス
ASTRAZENECA PLC		487.14	367.04	5,176	1,105,957	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		—	222.45	1,668	356,526	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,271.77	5,661.55	10,034	2,143,811	
		2銘柄	4銘柄	—	<8.0%>	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		63.79	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NESTLE SA-REG		186.43	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	250.22	—	—	—	
		2銘柄	—	—	<—>	
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVO NORDISK A/S-B		152.39	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	152.39	—	—	—	
		1銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ・・・オランダ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ABN AMRO BANK NV-CVA		—	1,105.88	3,449	640,351	銀行
KONINKLIJKE KPN NV		15,480.56	4,196.71	1,878	348,811	電気通信サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,480.56	5,302.59	5,328	989,163	
		1銘柄	2銘柄	—	<3.7%>	
(ユーロ・・・フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SCHNEIDER ELECTRIC SE		91.4	122.68	3,102	575,993	資本財
L'OREAL		—	37.32	1,470	273,015	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	91.4	160	4,573	849,009	
		1銘柄	2銘柄	—	<3.2%>	
(ユーロ・・・ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ALLIANZ SE-REG		105.01	40.33	1,561	289,906	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	105.01	40.33	1,561	289,906	
		1銘柄	1銘柄	—	<1.1%>	
(ユーロ・・・スペイン)		百株	百株	千ユーロ	千円	
IBERDROLA SA		2,788.16	1,910.59	3,699	686,878	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,788.16	1,910.59	3,699	686,878	
		1銘柄	1銘柄	—	<2.6%>	
(ユーロ・・・フィンランド)		百株	百株	千ユーロ	千円	
KONE OYJ-B		547.93	332.01	1,993	370,072	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	547.93	332.01	1,993	370,072	
		1銘柄	1銘柄	—	<1.4%>	
(ユーロ・・・その他)		百株	百株	千ユーロ	千円	
UNILEVER PLC		867.19	520.92	3,165	587,699	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	867.19	520.92	3,165	587,699	
		1銘柄	1銘柄	—	<2.2%>	
ユーロ通貨計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,880.25	8,266.44	20,321	3,772,729	
		6銘柄	8銘柄	—	<14.1%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	32,278.37	22,424.56	—	23,787,424	
		42銘柄	40銘柄	—	<88.8%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(3)外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		組入比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) HEALTHPEAK PROPERTIES INC	口 68,282	口 -	千アメリカ・ドル -	千円 -	% -
小 計	口 数 ・ 金 額	68,282	-	-	-
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄	-	-	<->
合 計	口 数 ・ 金 額	68,282	-	-	-
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄	-	-	<->

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■投資信託財産の構成

(2026年2月9日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 25,799,668	% 94.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,449,144	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	27,248,813	100.0

※期末における外貨建資産(24,494,130千円)の投資信託財産総額(27,248,813千円)に対する比率は89.9%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.96円、1台湾・ドル=4.954円、1イギリス・ポンド=213.64円、1スウェーデン・クローナ=17.43円、1ユーロ=185.65円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年2月9日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	27,615,122,374円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,034,359,672
株 式 ( 評 価 額 )	25,799,668,763
未 収 入 金	758,488,407
未 収 配 当 金	22,605,532
(B) 負 債	829,164,288
未 払 金	571,724,288
未 払 解 約 金	257,440,000
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	26,785,958,086
元 本	9,014,801,473
次 期 繰 越 損 益 金	17,771,156,613
(D) 受 益 権 総 口 数	9,014,801,473口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 ( C / D )	29,713円

※当期における期首元本額11,011,874,344円、期中追加設定元本額226,311,201円、期中一部解約元本額2,223,384,072円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、グローバルSDGs株式ファンド9,014,801,473円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2025年4月1日)

■ 損益の状況

(自2025年2月8日 至2026年2月9日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	403,836,067円
受 取 配 当 金	374,273,594
受 取 利 息	29,227,639
そ の 他 収 益 金	334,834
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,133,793,621
売 買 益	6,589,217,697
売 買 損	△ 2,455,424,076
(C) そ の 他 費 用 等	△ 6,587,280
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	4,531,042,408
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	16,561,091,334
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,667,815,928
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	346,838,799
(H) 合 計 ( D + E + F + G )	17,771,156,613
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	17,771,156,613

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。